

第54回
沖縄県芸術文化祭

OKINAWA ART&CULTURE FESTIVAL 2025

つなぐ、ひろがる、アートのちから

主催：沖縄県・(公財)沖縄県文化芸術振興会

共催：東村・東村教育委員会・(公財)九州文化協会・沖縄県文化協会

後援：沖縄タイムス社・琉球新報社・NHK沖縄放送局・沖縄テレビ放送・
琉球放送・琉球朝日放送・エフエム沖縄・ラジオ沖縄

第54回
沖縄県
芸術文化祭

しあわせのちから、つなぐ、ひろがる



【お問い合わせ先】
(公財)沖縄県文化芸術振興会 TEL.098-987-0926
詳しくはHPをご覧ください <https://www.okicul-pr.jp/kengeisai/>



書道・写真・美術 公募展

CONTENTS

主催者あいさつ 1

美術公募展

審査講評・各受賞者作品 2

美術公募展出展作品一覧 6

書道公募展

審査講評・各受賞者作品 8

書道公募展出展作品一覧 12

写真公募展

審査講評・各受賞者作品 14

写真公募展出展作品一覧 18

年度別展示部門入賞者一覧 20

書道・写真・美術 公募展

本展 入場無料
沖縄県立博物館・美術館

2025年**10月11日(土)～19日(日)**

初日10/11日(土)は展示時間10:00～20:00(入館は19:30まで)

■開館時間 / 9:00～18:00(入館は17:30まで)

※金・土曜日は9:00～20:00(入館は19:30まで) ※10/14(火)は休館日

写真選抜展 入場無料

東村立山と水の生活博物館

2025年**10月21日(火)～11月5日(水)**

※月曜日・祝祭日は休館日

令和7年度 沖縄県伝統芸能公演

重要無形文化財保持者等公演

日時: 2026年2月7日(土)

場所: 東村農民研修施設

入場
無料

主催者あいさつ



沖縄県知事

玉城 デニー

ハイサイ グスーヨー チューウガナビラ

第54回沖縄県芸術文化祭の開催に当たり、御挨拶を申し上げます。

沖縄県芸術文化祭は、県民の多様な文化芸術活動を奨励し、文化の向上と発展を目的として、沖縄が本土復帰した昭和47年から毎年開催しております。

今年も多く県の皆様から、写真・美術・書道の各部門合わせて、昨年度を上回る513点の作品が寄せられ、厳正な審査の結果、283点の作品が入選されました。

この度、沖縄県知事賞をはじめ、入賞された皆様並びに入選された皆様、誠にありがとうございます。心からお祝いを申し上げます。

入選された作品については、県立博物館・美術館に展示しておりますので、是非足をお運びいただき、多くのすぐれた作品を御覧いただければ幸いです。

また、本展終了後には、東村立山と水の生活博物館において写真選抜展を開催いたします。さらに本芸術文化祭では、舞台部門として東村農民研修施設において、重要無形文化財保持者等による組踊や琉球舞踊の舞台公演を開催するとともに、組踊の楽しさを体感できるワークショップを実施します。

地域住民の皆様をはじめ多くの方々に、沖縄が誇る伝統芸能の魅力を存分に堪能していただきたいと思っております。

沖縄県としましては、今後とも県民の皆様が沖縄の文化に誇りと愛着を持っていただけるよう、多様で創造力豊かな文化芸術活動を奨励・支援するとともに、広く芸術鑑賞の機会を提供してまいりますので、引き続き、皆様の御理解と御協力をお願いします。

結びに、沖縄県芸術文化祭の開催にお力添えをいただきました審査員をはじめ、関係者の皆様に厚く御礼申し上げ、挨拶といたします。



公益財団法人沖縄県文化芸術振興会
 理事長 下地 誠

ハイサイ グスーヨー チューウガナビラ

第54回沖縄県芸術文化祭の開催に当たり、ご挨拶を申し上げます。

沖縄県芸術文化祭は、県民の皆様が多様な芸術文化活動の奨励と優れた芸術作品の鑑賞機会の提供を通して、県民文化の向上に寄与することを目的に昭和47年度から毎年度開催しており、今年度で54回目を迎えます。

今年度は、16歳から90歳までの幅広い年代の県民の皆様から、各部門あわせて513点の応募があり、厳正なる審査の結果283点の作品が入選いたしました。入選作品は、ここ沖縄県立博物館・美術館の企画展示室に展示しており、同館県民ギャラリーでは、公募外の優れた作品を展示する特別展を開催しております。

また、本展終了後には、東村立山と水の生活博物館において写真作品の選抜移動展を開催することとしております。さらに、東村農民研修施設において、本芸術文化祭の舞台部門として、重要無形文化財保持者等による舞台公演を披露することとしております。

今年の芸術文化祭において、特筆すべきは次代を担う若い世代の活躍です。美術部門では、応募者の中で最年少となる16歳の作品が新人賞を、書道部門では25歳の作品が当会理事長賞を受賞いたしました。一方、長年技を磨いてこられた熟練の応募者の作品も大きな見応えを放ち、世代を越えて響き合う公募展となりました。県民の皆様には、本芸術文化祭に是非足をお運びいただき、多様な文化芸術を御覧いただければ幸いです。

最後になりましたが、高い創作意欲と情熱をもって挑戦された応募者の皆様や、長年審査及び啓蒙に取り組まれている審査員の皆様、沖縄県芸術文化祭の開催、運営にご支援を賜りました関係者の皆様に心より感謝申し上げます、ご挨拶といたします。

美術公募展

美術総評

本年の応募作品数は133点(平面122点 立体11点)でした。昨年は113点でしたので応募者も作品もふえ、審査員一同みなさんの意欲を感じました。作品の傾向にあまり変化はなかった中で、同一の作者の写実の大作が2点出品され審査員の注目を集めました。どちらも優劣を付け難い力作でしたが2点とも受賞とするとまでは考えられず、1点のみの受賞になりました。今まで写実作品の出品はたくさんありましたが、どうしてもただ描いている感が強く、自分なりのアレンジがあってもひとりよがりて単調になっている事が多く、小品ではよくても、大作になると物足りなく思えるものが多かったのですが、今後、このような作品を見ることが増えたらと、楽しみに思えたことでした。

今年は世間的には生成AIが問題にされた年でもありました。美術部門としては作者が生成AIを使っている、それは絵の発想の一部であり、それをどのように画面に定着させていくかが作者の絵画力であると考え、使った場合には出品票にどのように使ったかを記入するようにしたのですが、一つもありませんでした。生成AIとは別の事ですが工芸作品と判断される作品が毎年いく点か出品されます。県展には工芸の分野が無いのでそうになってしまうのかも知れませんが、絵画や彫刻の作品と工芸の作品とは別の分野です。美術の作品として出品されても同一基準で審査することは出来ません。よろしくお願い致します。

美術部門審査員長 西村 立子



沖縄県知事賞 「青の分断」

伊元 隆一

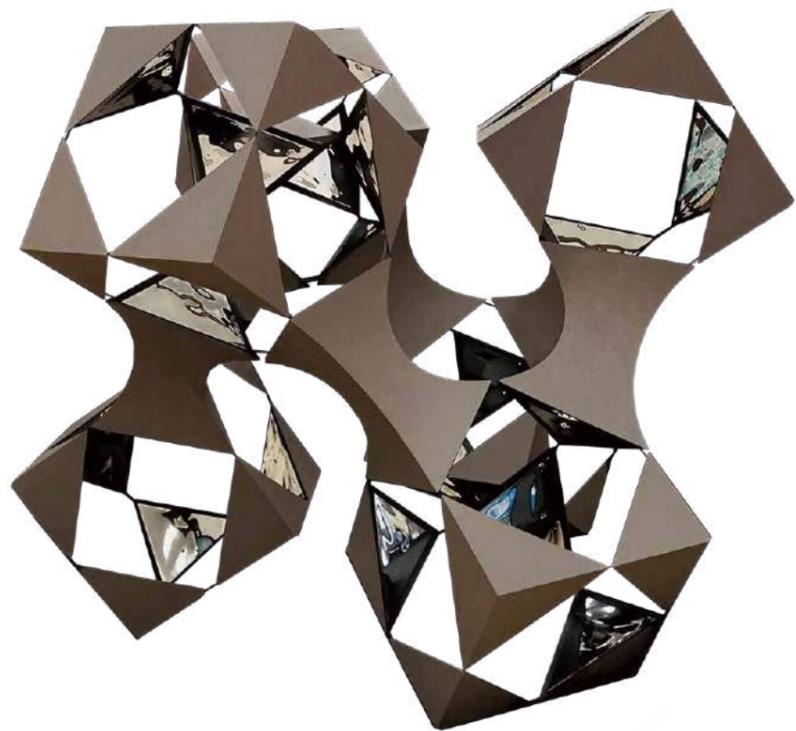
画面全体に広がる青色の中に区切られた各々の枠はオレンジやピンクの光が強いアクセントを放ち、まるで大きな海の中に渦巻いているようだ。

青を基調にした画面に断片的な文字や数字、鋭い線が交錯する作品には、秩序と混沌と、まさに現代社会の抱える闇と希望が垣間見える。近年の作者の色面の変化と画面の工夫は一作毎に心打つものがある。

今回は一見、平面を区切り、各々のパーツの響きかと思いきや、よく見るとその中に凹凸を用いることで、細やかな部分にも作者の画面構成への強い思いが伝わってくる。

作者の「分断」は、現代のわれわれの抱える社会、ひいては世界の現実であり、そして郷土の不条理に向きあい、表現する姿勢に心からの敬意を表し、今後のさらなる展開を期待してやまない。

講評担当者 上原 成美



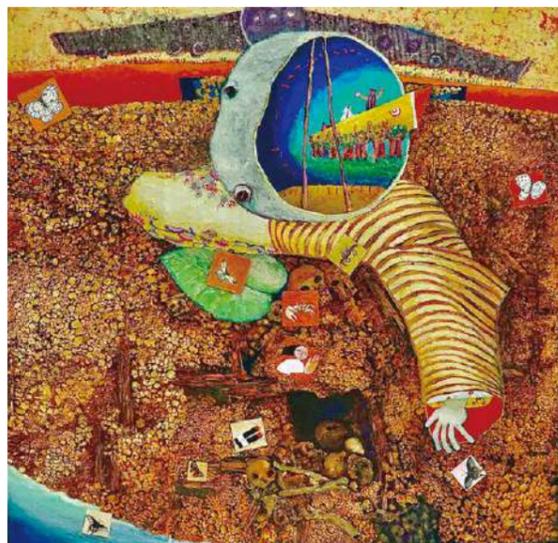
沖縄県文化芸術振興会理事長賞
「記憶の迷宮」

中澤 将

昨今の県内アートシーンにおいて、数理的理論に裏打ちされた造形を展開する受賞者の勢いが目覚ましい。受賞作は一見して6体のキューブの繋がりによる立体構成に見てとれるが、秩序を保ちつつも空間に散在したテトラヘドロン複数の個体それぞれに異なる「歪みを持つ鏡面」、すなわち作者の造形意図とする迷宮に閉塞されたままの過去における諸々の記憶事象の記録媒体としての造形の核となる存在性を持つ連鎖構成的立体作品であると分析される。

作者の造形意図とする過去から現在へと繋がる記憶事象性の異なる個々の存在が全体へと連鎖的に繋がる数理分析の極致ともいえる造形表現は、揺るぎのない完結したフォルムを表出した空間構成となる秀逸作であり、受賞者の造形センスに賛辞を贈りたい。

講評担当者 儀間 博昭



奨励賞
「沖縄沈黙の音・海・空・島」

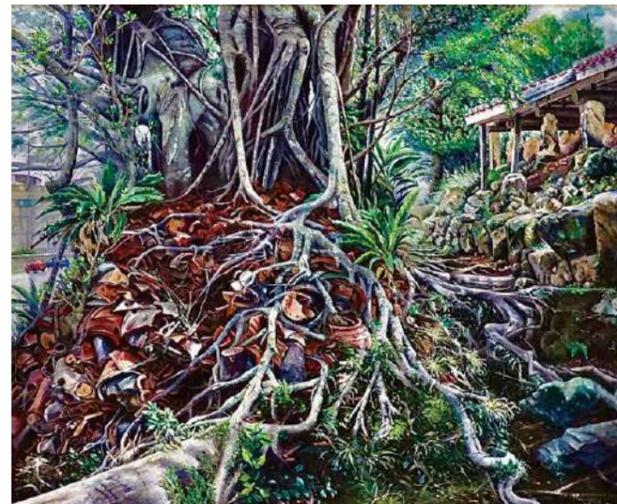
砂川 恵光

赤土色を基調とした画面に、大きく開かれた口と迫り来るヘリが強烈な印象を与える。中央にはクワズイモの葉や遺骨が描かれ、折り紙のようなコラージュには平和の祈りや人々の姿、カニや蝶が散らばられている。温かな赤と海・空・島の色彩が響き合い、沈黙の中にニライカナイからやってくる常世の音が聞こえてくるようだ。

作者は十数年来「沖縄の沈黙」を主題に取り組んでおり、その出発点は2004年の沖国大ヘリ墜落事件にあった。現場に足を運んだ体験が、あぐりと口を開けざるを得ない衝撃として刻み込まれている。沖縄のガマの記憶や抑圧された現状を問い続ける姿勢は、本作にも一貫して表れている。

注目したいのは素材である。沖縄の漆喰を絵具に混ぜることで独特の質感と色彩を生み、土地に根ざした表現として画面に厚みと説得力を与えている。新聞や報道から得たインスピレーションを巧みに昇華し、力強さの中に温かさを、迫力の中に小さな希望を感じさせる力作である。

講評担当者 山川 さやか



奨励賞
「修練を積む」

國吉 清

國吉氏の作品は、沖縄の風土、歴史、文化、そしてそこに息づく生命の循環を深く捉え、精密に描写しながらも、時間の流れを超越した神秘的な作品であると感じた。

作品タイトルにあるように、登り窯の一角にある陶器の廃棄された風景に目を向け、その過去から現在への物づくりへの情熱や歴史的背景を思い、制作へと繋げた作品と解釈した。

ガジュマルの木のように、複雑に絡み合った力強い生命力が描かれ、割れたり、使われなくなった陶器の破片が積み重なり、土に還っていく過程や歴史の層を表現しているように感じた。生命力あふれる植物と、人が作った陶器が、互いに影響し合いながら存在し沖縄の文化を象徴しているとも捉えることができる。時間の流れを超越した作品であり、画面に奥行きを与え、神秘的な雰囲気を一層引き立てている。

今回、作者から2点の応募があり、両方とも審査員が認める優れた作品として「修練を積む」は奨励賞、「眼光衰えず」は賞候補となった。意欲的に制作していることが感じられ、人生の先輩として次回の出品も期待したい。

講評担当者 赤嶺 雅

奨励賞
「惨状の現実」

比屋根 清隆

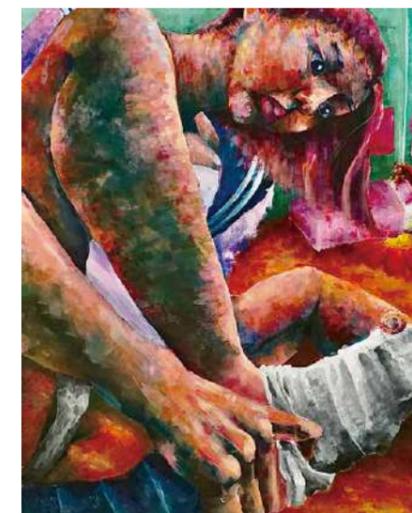
画面中央の、酷熱をおびて迫るような爆裂の形様。うずくまり、ひれ伏す人の影。深い灰青色の画面から噴出するオレンジ赤の対比を駆使した色点や色面のムーブマン。

その対比の強烈さによって、我ら人類世界の引き起こす惨状への、憤りのメッセージを観る者に感受させ得ようか。

形態の象徴性や色彩対比の構成バランス、その造形性と心象のメッセージ提示の結合。絵画美術としての両者の結合度合の深まりが、本作品への評価となったであろうか。

制作作品を通して培ってきた独自の表現世界、今後ともたゆまず取り組み続けることを期待し、賛意を送りたい。

講評担当者 大城 譲



新人賞
「無防備な時間は、まだ大人になれない私のもの」

相馬 葉音

キャンバスいっぱいに体をくねらせた一人の少女の姿が描かれている。青いひだのスカートと、白いラインのセーラー、しな垂れた赤い髪。眼光鋭く、しかし何を捉えているのか焦点の合わない大きな瞳。穴の空いた靴下には意志を持つ手が伸びている。投げ出した脚の付け根には恥じらいもなく下着も描きとる。「私」であることの喜びと自信に満ち満ちていて、私は私であると豪言するかのようだ。しかしその姿の裏側に、孤立、孤独への恐怖も透けて見えるようで、作品に添えられたタイトルと描かれた絵を呼応させると実にシンプルに、または複雑に、答えを見つけないままの未完成の人間が曝け出されて、我々は謎解きのように引き込まれる。筆の運びや多彩な色の展開は自由そのものである。これから自身が積み重ねていく画業の修練や人生経験によって、さらに唯一無二のオリジナリティー溢れる作品が生まれてくることを期待したい。

講評担当者 眞榮田 文子

美術公募展作品一覧

■審査員出展作品

題名	サイズ	種別	材質	氏名
天空の鳥・地上の人	110×165×4	平面	板、布、アクリル彩色	大城 讓
潮流のラビリンス	162×130	平面	アクリル、パス	佐久本 伸光
カイダの景色	162×162×5	平面	画成紙	宮里 昌信
キョクヲツムグ	130×130	平面	ミクストメディア	山川 さやか
Windows1	90×180×10	平面	ミクストメディア	屋良 朝彦
浸蝕の軌跡	155×72×32	立体	再生紙・その他	儀間 博昭
はな	100×80.3	平面	岩絵具・紙	西村 立子
海のかたち	162×130	平面	アクリル・ミクストメディア	上原 成美
コメノクニ.I	166×135×6	平面	油彩	眞榮田 文子
経年美化0025	93×121×4.5	平面	紙、顔料インク	赤嶺 雅

■無鑑査出展作品

題名	サイズ	種別	材質	氏名
kasou-sinsou akete wa naranu.	117×73	平面	アクリル	池原 優子
是空	162×162×4	平面	キャンパス、油彩、アクリル	鶴見 伸
黒い森	94×94	平面	油彩	平川 宗信
地相 2024	186×177×5	平面	アクリル	與那覇 勉
それで君は何も言えなくなっちゃったのかい	80×50×50	立体	陶器	伊志嶺 達雄

■美術入賞作品

題名	サイズ	種別	材質	氏名	市町村
沖縄県知事賞 青の分断	152×186	平面	アクリル	伊元 隆一	読谷村
沖縄県文化芸術振興会理事長賞 記憶の迷宮	160×200	立体	木材等	中澤 将	浦添市
奨励賞 沖縄沈黙の音・海・空・島	178×182	平面	ミクストメディア	砂川 恵光	浦添市
奨励賞 修練を積む	155×185	平面	油彩	國吉 清	浦添市
奨励賞 惨状の現実	180.5×198.7	平面	アクリル	比屋根 清隆	沖縄市
新人賞 無防備な時間は、まだ大人になれない私のもの	162×130	平面	アクリル絵の具	相馬 葉音	北谷町

■美術入賞作品

題名	サイズ	種別	材質	氏名	市町村
沖縄 Old Denim Textile	85×120	平面	アクリル	福島 弘子	那覇市
慶良間諸島沖 下曾根 ジャイアントマンタ	72.8×103	平面	アクリル樹脂	石垣 絵里奈	宜野湾市
島に生きるものたち	82×53	平面	紅型染め	相田 あゆみ	与那原町
鳳凰木	65×57.5	平面	岩絵の具、麻紙	酒井 胡呂	那覇市
日向の子	71×97	平面	水彩	喜舎場 亜子	浦添市
熱望	100×70	平面	デジタル アートプリント	大學 恵理子	浦添市
ファンタジー	150×160	平面	油彩	高原 武子	嘉手納町
斜光II	85×50	平面	油彩	高嶺 伸	那覇市

■美術入賞作品

題名	サイズ	種別	材質	氏名	市町村
アチネー	130×162	平面	-	仲本 潤一郎	沖縄市
想	194×130	平面	油彩	大城 春信	那覇市
さざめき	164×132.3	平面	アクリル	八木 洋子	うるま市
岩の記憶	140×172	平面	-	大田 隆男	北中城村
「マブイ」の折り	183×183	平面	アクリル、 パステル	石原 美智子	与那原町
瞑想	133×196	平面	水彩	渡久地利江子	西原町
つながるいにしへの城壁へ	193.8×162	平面	アクリル・ ミクストメディア	仲座 包子	中城村
眼光衰えず	155×185	平面	油彩	國吉 清	浦添市
西表島の山猫	95×115	平面	油彩	平得 光雄	与那原町
contemporary	91×91	平面	アクリル	志喜屋 剛	那覇市
時の扉	40×32	立体	陶土	神村 吉次	那覇市
存在II-a	89×64	平面	パステル、 色鉛筆	漢那 正	西原町
Pixel-No.116	91×116.7	平面	アクリル	Takahiro Morine	うるま市
雨上がりのアメリカンビレッジ	167×199	平面	油彩	伊是名 吉明	沖縄市
Part2 娘たちの四重奏	160×130	平面	油彩	伊川 治美	糸満市
ミー〜 (TANGO)	92.2×118.4	平面	水彩、パステル、 アクリル、色鉛筆	大橋 幹	那覇市
リサイクル	107×168.3	平面	アクリル、 コンテ	伊芸 匠志	うるま市
岬の息吹	84×104	平面	-	下地 玄栄	浦添市
比謝川下流	97×120	平面	水彩	崎野 欣二	那覇市
キンレンカ	62×91	平面	水干、 岩絵の具、箔	西田 悠那	那覇市
支え木	40×35	平面	木版画	栗田 大輝	浦添市
Bobby Sox	100×100	平面	日本画	柴崎 琳子	那覇市
ゆっくいショウビン	41×25	立体	ステンレス	ニシダ	那覇市
迫る	53×65.2	平面	日本画	鳥越 星葉	那覇市
海と空の境界線で 繰り広げられる逃走劇	162×130.3	平面	アクリル	内倉 彩	宜野湾市
果て	51.5×72.5	平面	マジックペン	西原 志琉	糸満市

題名	サイズ	種別	材質	氏名	市町村
帰路	91×72.7	平面	日本画	我喜屋 瑠倭	糸満市
古い佇まい	107×132	平面	油彩	今村 忠勝	那覇市
時の連なりに	100×72.7	平面	水彩	玉城 光江	西原町
魚火	132.7×132.7	平面	油彩	前川 麗香	浦添市
路地	70.9×109	平面	木版	安次嶺 勝江	西原町
沖縄の光・白い道	91×117	平面	ガッシュ、 アクリル	仲本 功	沖縄市
終わらない季節	152×122	平面	油彩	ジョーダントニー	北谷町
波打ち際の約束	165×133.5	平面	アクリル	山本 智子	宜野湾市
目隠しを捨て怖れの 幻影を克服せよ	164×134	平面	アクリル、ペンキ	吉田 貴則	那覇市
悠久なる銀河I	68×52.9	平面	クロトン押し葉、 クッション紙、 オーガンジー	伊是名 教子	南風原町
proud flower	45×84	立体	鉄	大城 翔	那覇市
自画像	163.5×118.2	平面	アクリル絵具	平安座 圭五	那覇市
抑抑	110×110	平面	お花紙、かく材	上原 進	南城市
刻 - 白い壁	186×186	平面	発泡スチロール	松本 幸昌	那覇市
2人だけの	103×72.8	平面	デジタルイラスト	糸数 利采	那覇市
つづく。長く遠い道。	140×101	平面	ミクストメディア	秋山 颯馬	西原町
こかげ	135×167	平面	アクリル	津波古 政廣	恩納村
安らかにやすみ	184.5×184.9	平面	油彩	伊禮 亮	嘉手納町
変容	72.7×60.6	平面	油彩	大城 花夏	那覇市
Good old	25×60	立体	綿布、プラスチック、 木桶	坂本 大地	南城市
MIKU	162×130	平面	油彩	浦田 健二	糸満市
うみとあそぼう ～沖縄探検～	60×90	平面	アクリル、水彩、 ペン、写真	平田 清子	沖縄市
無題	115×145.7	平面	キャンパス、油彩	結城 花椰	南城市
Thinking inside the Box	96.5×65	立体	木材、紙類、 フィギュア	大川 晃	西原町
始蘇島	91×117	平面	水彩、アクリル	棚原 麻里奈	那覇市
無題	177×91	平面	アクリルパネル、 アクリル	Ross Risa	沖縄市

第54回 沖縄県芸術文化祭

書道公募展

書道総評

応募作品を審査した結果、県知事賞に喜友名正子、理事長賞に山城篤和、奨励賞に神里和子、東徳嶺輔、中村冴子の三人、新人賞に桑江遼の6名に決まりました。

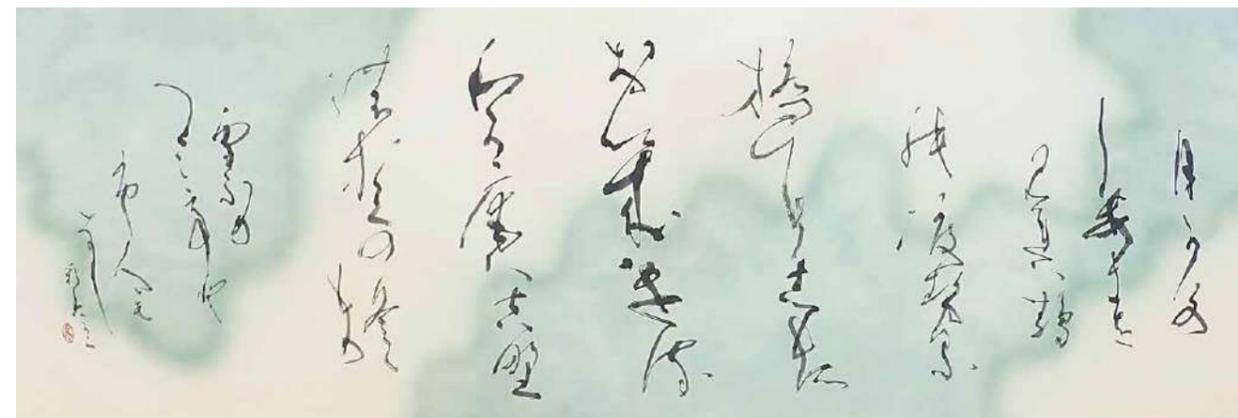
いずれおとらずの力作ばかりで微妙な状態になり、11名の審査委員を悩ませていました。高得点の争いになりました。

作品は全体としては、良く書き込まれてレベルが高くなりました。受賞者の年齢が20代から70代までと幅広くなり、40代前後の皆さんの活躍が見受けられて非常にうれしい限りです。

表現方法の違いはあるものの、それぞれに作品は落ち着きのある、充実感のある作品で練度の高さを感じました。

創意工夫の跡が見えました。今後の作品を期待します。

書道部門審査員長 我喜屋 明正



沖縄県知事賞 「わが庵」

喜友名 正子

この作品の魅力は一見派手な紋様の紙を用いていながらもそれに負けない大胆な紙面構成と濃い目の墨色、バネの利いた線質によって立体感を生み出したところにあるだろう。

低めに始まった冒頭の3行から徐々に行間を広げ中央へと盛り上げていく様は山場への期待感を膨らませる。その中央の「お幾」は墨量をしっかりと乗せ重厚感を出した。それが全体の柱として成り立ち、更にはバネの利いた運筆と逆三角形の字型が何とも言えない開放的な空間を作り出して心地よい。隣の「庵」も「幾」の動きを支える大事な役割を果たしている。そして結び。大胆な展開と真逆の趣きのある静けさを感じさせる。墨量を控え右足下へ傾斜させ上下の高低差の変化をつけた。窮屈感が全くない。

ただ惜しむらくは、細線の処々に見える浮いた線に製作期間の不十分さを感じる。もう少し時間が欲しかったと思うのは私だけではないだろう。怯まず挑んだ気概を讃えたい。

講評担当者 仲本 清子



新人賞
「山樹」

桑江 遼

美的素養を持ち合わせた作者は視座が高く、師匠の薫陶よろしきを得、中央書道界ではすでに審査員も務める立場でもある。

作者は「『守・破・離』の『守』の今、師の書、思いを心身に染め研鑽を積みたい」とも。

紙の大きさに対し十四文字で大字二行を表現。一、二行の響き合いが明るさと奥行きを感じる。これは精神的安定が無ければ作品として成り立たない。当然力み、線の濁りが起こりうるものだが、作者は「一本一本の線が宿す存在感を想像して制作しよう」と言う。その精神は十分に質感として作品に表現された。

「新人賞」以上と思われる作品であり今後益々生命感あふれる作品を、そしてこれからも正々堂々、正攻法の作家であることを希望する。

講評担当者 中村 泉抄

奨励賞
「司空曙詩」

東徳嶺 輔

文字の書始より文字の大小、線の太細を無理なく作り株の棲の白の間の取り方に工夫の跡が見えて好ましい、1行目と2行目との響き合いがよくできています。行の流れも無理なく、行間で白の形がメリハリを作れているかと思えます。3行目は墨量が足りないように感じます。今後とも大胆な作品を期待します。

講評担当者 我喜屋 明正



奨励賞
「蔡大鼎詩」

仲村 冴子

清朝時代後期の書家「楊峴(ようけん)」は漢時代の素朴さと流麗さの調和のとれた「礼器碑」を好んで臨書した。そして力強さ、大胆な抑揚、太細を駆使し変化に富んだ筆致を生み出したこの作品も「楊峴」を研究しこの特徴をうまく生かし表現した作品となっている。特に浮沈抑揚の効いた大胆な八分(はっぶん)は観る者を魅了させる。また墨を思い切ったのせているにも関わらず軽快さを伴っているのは一字一字の中の切れの良い細い線にあり文字に明るさを生み立体感が出た。全体の文字のバランスも良く楊峴行書を意識した後半の細字三行も整然として丁寧に仕上げられている好感の持てる作品である。今後とも楽しみながらさらなる研鑽を積んでほしい。奨励賞おめでとうございます。

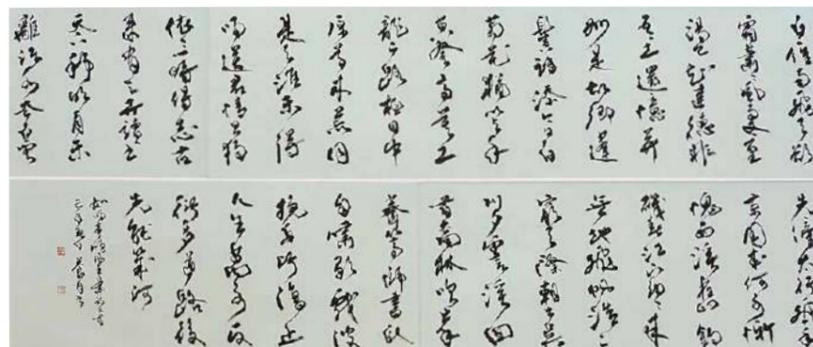
講評担当者 運天 南陽

沖縄県文化芸術振興会理事長賞
「司馬光詩」

山城 篤和

沖縄県文化芸術振興会理事長賞受賞、おめでとうございます。
この作品、傅山の雰囲気を意識しての書作とのことですが、所々にその片鱗が垣間見え、楽しみながら作品づくりを進めたであろうと想像すると観る側も心が弾みます。
たっぷりと含墨した筆を変転自在に思いっきり運び、その大胆で生気澆刺とした運筆から伝わってくる躍動感が審査員の心を打ちました。やわらかな線と、1~3行目上部までの緩急をつけた文字群の墨色の変化、縦長横長の字形を上手く組み合わせた大小疎密の兼ね合い、左右の行間の響き合いも工夫されていて、見ごたえのある一作になりました。
ただ、欲を言えば、渴筆部分の墨量はもう少し少ないほうが白と黒の空間をより美しく見せられるのでは…との印象も持ちました。
今回の受賞を励みに、臆することなく、ますますの研鑽と精進を期待します。

講評担当者 小杉 紘南



奨励賞
「漢詩三首」

神里 和子

白雁南飛で始まる漢詩を卷子で二段に仕上げた作品。カラーの料紙を使い、墨色とマッチし美しく表現されている。行間と文字の余白がすばらしく鑑賞に値する佳作となっている。又、文字の粗密感が上手く全体の落ち着きを保っている。
書き出しから最後まで一貫した流れで、淡々と運筆され好感の持てる作品になっている。文字の墨溜まりが随所に有ると、遠近感が増しより一層作品が輝くと思う。課題として、もっと直線的な線が出てくると更に良い作品になるでしょう。今後とも益々のご精進を期待します。

講評担当者 大城 碧鳳



書道公募展作品一覧

■審査員出展作品

題名	サイズ	種別	氏名
心游大海	C	漢字	我喜屋 明正
海國風高	A縦	漢字	宮本 峰堂
文潜が舟中に題する所に和す	B縦	漢字	中村 泉抄
琉歌「命ど宝」	A縦	調和体	福原 瑞堂
月人	C	かな	仲本 清子
信望愛	D	篆刻	東江 順子
漢詩対句	A縦	漢字	運天 南陽
福綬	C	漢字	大城 碧鳳
秋の夜	B横	かな	小杉 紘南
知足	B縦	漢字	砂川 桂峰
愛語	全紙	漢字	田名 洋泉

■無鑑査出展作品

題名	サイズ	種別	氏名
波つづき	B縦	かな	新里 荘香
蔡大鼎詩	B縦	漢字	仲 舛 綾霞
積善之家必有余慶	A縦	漢字	伊波 光柳
史記之一節	A縦	漢字	島 桃 華
忘機万事即安心	B縦	漢字	上門 馨香
桃夭	C	漢字	神山 晴柳
野鶴	A縦	漢字	西蔵盛 耕石
釋齋己詩	A縦	漢字	高江洲 南秀
大浦湾	B横	調和体	仲宗根 泰碩
師の言葉	B横	調和体	眞喜屋 華泉

■特別推薦作品

題名	サイズ	種別	氏名
行違れば兄弟	半切	漢字	盛島 清齋
耕不尽	半切	漢字	茅原 南龍

■書道入賞作品

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
沖縄県知事賞 わが庵	B横	かな	喜友名 正子	北中城村
沖縄県文化芸術振興会理事長賞 司馬光詩	A縦	漢字	山城 篤和	那覇市
奨励賞 漢詩三首	B縦	漢字	神里 和子	南風原町
奨励賞 司空曙詩	A縦	漢字	東徳嶺 輔	南風原町
奨励賞 蔡大鼎詩	A縦	漢字	仲村 冴子	北中城村
新人賞 山樹	A縦	漢字	桑江 遼	浦添市

■書道入選作品

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
涼	B横	前衛	山田 瑠美	糸満市
飛翔	A縦	前衛	岸本 泰子	名護市
風の記憶	A縦	前衛	渡辺 京華	読谷村
星の界	A縦	調和体	金城 めぐみ	八重瀬町
椰子の実	B横	調和体	大城 喜美子	糸満市
夕焼小焼	A縦	調和体	喜久山 徹	那覇市
冬景色	A縦	調和体	岸本 真由美	名護市
妙義山	B横	調和体	久保田 麻里	豊見城市
汽車	A縦	調和体	高橋 直美	那覇市
故郷の空	B縦	調和体	添盛 桃子	豊見城市
かぎやで風節	A縦	調和体	上原 貴子	那覇市
故郷	A縦	調和体	嶺井 由起子	那覇市
羽衣	A縦	調和体	平井 理沙	豊見城市
曼珠沙華	B横	かな	志田 美代子	浦添市
秋かぜ	B横	かな	宜壽次 政代	うるま市
梅の花	B横	かな	喜友名 晴香	北中城村
紫陽花	B横	かな	饒平名真由美	那覇市
初春の風	B横	かな	福原 美枝	うるま市
若葉さす	B横	かな	赤嶺 弘子	うるま市
歩め黒駒	B横	かな	宮城 多佳子	浦添市
心づくし	B横	かな	仲栄真 律子	沖縄市
いろは歌	B横	かな	渡慶次喜代美	嘉手納町
天の月	B横	かな	渡名喜香代子	浦添市
すめる月影	B横	かな	比嘉 栄子	北中城村
夕月夜	B横	かな	仲里 美智子	宜野湾市

■書道入選作品

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
山田	B横	かな	仲村 妙子	読谷村
音羽山	B横	かな	外間 匡美	宜野湾市
霞たち	B縦	かな	備瀬 恵子	宜野湾市
春を待ちて	B横	かな	古波蔵 悦子	宜野湾市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	山城 清美	沖縄市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	長浜 政子	沖縄市
甘露寺	A縦	漢字	浦崎 康哉	名護市
寒山詩	A縦	漢字	富山 史奈	那覇市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	宮城 みち子	中城村
錢塘湖春行	A縦	漢字	上間 有希	南風原町
蔡大鼎詩	A縦	漢字	翁長 実加	浦添市
感懷	A縦	漢字	小橋川スガ子	那覇市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	仲栄真 文子	沖縄市
秋江獨釣圖	A縦	漢字	知念 栄子	伊江村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	喜納 八重子	読谷村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	内間 カズ子	浦添市
韋応物詩	A縦	漢字	知念 一正	石垣市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	金城 敏子	うるま市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	與那覇 律子	宜野座村
岑參詩	A縦	漢字	金城 翔太	西原町
清平調詞(李白)	A縦	漢字	天久 美津枝	読谷村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	幸喜 薫	浦添市
惜花歎	A縦	漢字	湧田 市子	沖縄市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	香村 春乃	読谷村
客中夜坐(袁凱詩) 他一首	A縦	漢字	宇良 樹希	名護市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	伊佐 直美	宜野湾市
自剷北歸	A縦	漢字	金城 綾子	八重瀬町
蔡大鼎詩	A縦	漢字	川上 秀子	北中城村
重ねて雨花台を過ぎて江を望んで感有り	A縦	漢字	照喜名ひろみ	那覇市
飲酒	A縦	漢字	伊禮 かおる	石垣市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	古賀 日奈子	西原町
林鴻詩	B横	漢字	知念 奈苗	那覇市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	島田 直子	うるま市
月夜泊虎山橋	A縦	漢字	長堂 加代子	読谷村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	比嘉 さつき	沖縄市
秋鴉	A縦	漢字	金城 久弥	八重瀬町
蔡大鼎詩二首	A縦	漢字	真栄田 義之	那覇市
琉球漢詩二首(蔡文溥)	A縦	漢字	玉那覇 明美	与那原町
還至端州驛、前與高六別處 張說	A縦	漢字	赤嶺 光宏	豊見城市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	上原 好美	読谷村

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
画に題す	A縦	漢字	亀川 盛敏	西原町
蔡大鼎詩	A縦	漢字	宮里 えり子	浦添市
旅興 其二 他一首	A縦	漢字	知名 律子	中城村
李太白詩 前有樽酒行	A縦	漢字	新垣 恵津子	嘉手納町
馬王堆帛書老子	A縦	漢字	富村 朝浩	沖縄市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	川中 留美	浦添市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	佐渡山 香	宜野湾市
少室南原	A縦	漢字	大城 美季	那覇市
蘇東坡詩	A縦	漢字	米須 美奈子	宜野湾市
方干詩	B横	漢字	山城 洸大	糸満市
京口范肯堂先生に遇う	A縦	調和体	友寄 恵子	伊江村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	富山 美智子	宜野湾市
旅館詠詩 (蔡大鼎)	A縦	漢字	清水 七子	西原町
田園雑詩 其三	A縦	漢字	真志取紀美子	与那原町
寒山詩	A縦	漢字	川上 タケミ	北中城村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	屋良 美香	沖縄市
梅村	A縦	漢字	金城 功	那覇市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	渡久山 糸子	浦添市
項斯詩	A縦	漢字	宮城 正一	与那原町
蔡大鼎詩	A縦	漢字	小川 未加	那覇市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	崎浜 千鶴子	北谷町
高青邱詩	A縦	漢字	伊佐 千博	石垣市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	安里 弘子	沖縄市
池口の風雨に留まること三日 他二首	A縦	漢字	上江田 敏博	豊見城市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	奥濱 喜美子	浦添市
奉和春日出苑曝日應令	A縦	漢字	宮城 菜々美	西原町
蔡大鼎詩	A縦	漢字	永山 千里	那覇市
塞下曲二首他	A縦	漢字	上原 妙子	読谷村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	金嶺 由季奈	沖縄市
万壺	A縦	漢字	平良 祥太	南風原町
蔡大鼎詩	A縦	漢字	徳里 美代子	嘉手納町
雨傘	A縦	漢字	柗崎 ケイ子	浦添市
洛陽早春	A縦	漢字	仲原 真津枝	宜野湾市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	大城 千春	宜野湾市
王漁洋詩	A縦	漢字	池宮城 秀斗	那覇市
進取果敢 遜志時敏	D	篆刻	安里 涼子	那覇市
時和筆蹟 光風動春	D	篆刻	田頭 節子	那覇市
飲河満腹 等量斉視	D	篆刻	山城 千恵子	那覇市
疾風勁草 泰然自若	D	篆刻	上間 道子	那覇市
丁巳人日 七十生辰 漫成	A縦	漢字	真謝 幸代	名護市

写真公募展

写真総評

人工知能は写真公募展を変える

今年の特徴は、「AI」による写真作品ではないことにも注目していることであろう。これは他の分野に比べて、無作為な他人によって制作されたイメージを使用するなど、著作権に配慮されていない作品が出現する懸念が生じているためであった。

人工知能での補助による作品制作は、昨今、あちらこちらで議論されているところであるが、2025年の現時点ではまだまだ不完全なことも多く、いわゆる見慣れた写真とは異なる違和感が見て取れる（ことがある）。数や造形に不自然さが生じたり、この場所にはあまりそぐわない物が写り込んだりすることがある。なぜだか分からないこの違和感はいわゆる「不気味の谷」の一例であるが、いずれはそれも克服されるのであろう。

コンピュータによる大規模言語モデルの一つであるチャット gpt に、この展覧会の「入選方法」を尋ねてみると、そのポイントとして、テーマ性・メッセージ性、独自性、技術面、作品サイズ・仕上げ、過去入選作品の研究、審査員の傾向が挙げられており、準備すべきことが示された。私には概ね正解である様に見えたが、県内の他展との違いはほとんどなく、ただそれには「一点突破」という項目が付け加えられていた。県展とは違うその展覧会では、作家性が見られているということか。

人工知能は写真の世界でも無視できないところに来ている。いずれ審査自体が意味をなさなくなるか、審査員が必要なくなるのかもしれない。

写真部門審査員長 仲本 賢



沖縄県知事賞 「壺屋のじんじん」

中村 高士

イコノロジーという領域がある。そこに照らせばこの作品があらわすのは蛸ではない。蛸と共存し寄り添わんとする人の想いなのである。その点においてこの作品が数ある蛸の写真と一線を画すところであり、沖縄県知事賞たる所以である。受賞おめでとうございます。

「じんじん」とは沖縄の方言で「蛸」を意味する。この種は陸生のためやちむん通り周辺の石垣に生息していると考えられており、4月から5月にかけて現れるという。中央の人家の明かりは蛸がいかに身近な存在かを物語っている。

そしてこの作品にはもう一つ主役がいる。左端にある「石敢當」である。魔除けの石碑であり、その隣はシーサーであろうか。実はこの要素が極めて重要で数ある蛸の作品と一線を画した点である。

つまりそれが人ではなく巧みな空間構成の結果、冒頭の想いがじんじんと込み上げてくるのである。

講評担当者 又吉 亮太

沖縄県文化芸術振興会理事長賞 「なれない自分」

安田 拓

「なれない自分」というタイトルからは、揺れ動くさまざまな女性像が浮かび上がる。水滴の背後にたたずむ若い女性は、果たして何を想像しているのだろうか。この作品には、具象と抽象の狭間に揺れる女性心理が映し出されており、その表層を通じて鑑賞者に多様な解釈のベクトルを投げかけているように思える。作者は見る者を試し、同時にそれを楽しんでいるのかもしれない。そこにこそ、この作品が持つ表現としての普遍性を感じるのである。人は人生において悩み、考え、そしてそれらを糧に成長していく。その過程を暗示するかのように、本作は深い内面性を湛えた、不思議な魅力を持つポートレートとして結実している。

次回も観る側を悩ませそして思考させるミステリアスな作品を見せてほしいです。

講評担当者 東 邦定



奨励賞 「浮遊」

安田 正昭

暗い背景からふわっと浮かぶ、白い大理石からできた巨大な豆のようなオブジェ。見て触れて体感できる彫刻作品でしょうか。中が大きくくり抜かれた空間に子どもが一人寝っ転がり、だらんと伸びた足からスニーカーが無造作に飛び出しています。リラックスした表情で無邪気にオブジェをなで回す様子を、居心地の良さが写真から伝わってきます。

色味が抑えられ、シンプルな画面構成に被写体を真ん中に配置し主役の存在感を際立たせた日の丸構図。オブジェの持つ重厚さと包み込まれる子どもとの対比の中で、スニーカーに合わせられたピントで視線が誘導されました。子どもの顔や伸ばした手、靴底の位置のバランスが、安定した画面の中にリズム感と面白さが伝わりました。

講評担当者 又吉 康秀



奨励賞 「はじめてのお茶」

砂川 盛榮

「おもしろいな！」その第一印象からはじまるこの写真が語りだす声に耳を傾けた。

自宅と思われる本格的な茶室が切られた茶室の中に、亭主ひとり、普段し慣れない正座で茶菓子と抹茶をいただく男子。床の間には「一期一会」の掛け軸、その下には沖縄らしく三線、二人の表情とその場の雰囲気、それらの関係性が茶の湯の中でよく使われる「日々是好日」や「和敬清寂」の言葉を連想させるかのように微笑ましく伝わってくる。

様々な要素が融合した総合芸術といわれる茶の湯の視点を生かした写真を撮る行為も、新たな個性ある作品作りに繋がっていくことと思います。

講評担当者 根間 芳和

奨励賞 「石敢當のある情景」

宮城 米子

宮城米子さんの石敢當への眼差しは、一見静かでありながらも人の匂いとそこにある時間が静かに漂いながら、どこか鋭さを感じさせられました。「いつもの道端には」と写真集の言葉の通り、これまで数多く撮影してきた中で見つけた石敢當と、そこに写り込んだ風景や人、さまざまなものが一枚の中であって、気づけば何度も写真集を見返しました。

石敢當は、魔除けの意味を込めてT字路や突き当たりで据えられ、日常のすぐそばにあるはずの存在ですが気づかぬうちに、その前を通り過ぎてしまう。

写真集「石敢當のある情景」では、石敢當に意識的に目を向けつつ、それを捉える前に身体が自然に反応しているように見え、石敢當そのものだけでなく事象にもカメラが向けられているように感じました。石敢當とその側にある日常のなかにも発見があり、人の匂いや時間、背景までもが写し出される。静かでありながらも鋭い、宮城さんの眼差しを通して、見過ごされている視線を認識できました。

講評担当者 伊波 リンダ



石敢當のある情景
宮城米子

新人賞 「古代ロマンへの旅」

長嶺 均



作品にある右のピラミッドは、エジプトの三大ピラミッドのひとつ、カフラー王のピラミッドで、約4500年前に建造された。高さは136mになり、クフ王のピラミッドに次ぎ2番目の大きさである。

作品では、左上からの太陽の光と青い空を背景にピラミッド前の砂煙とラクダにのる人たちが、古代エジプトの壮大さをうまく醸し出している。砂煙等、貴重なシャッターチャンスをとらえられている。実際には、観光中にガイドさんの「珍しくピラミッドの前に砂煙が起きている」という言葉に反応して、直ぐカメラを構え、撮ったことがこの素晴らしい作品に結び付いたようだ。

撮影者の長嶺氏は、タイトルの「古代ロマンへの旅」にあるようにエジプトの古代文明に対する強い思い(ロマン)を感じられる。また、エジプトだけではなく、古代文明の遺跡に強い興味を持ち、ペルーのマチュピチュやチリのイースター島への古代ロマンの旅を予定しているとのこと。今後も素敵な作品を期待したい。

講評担当者 長堂 哲

写真公募展作品一覧

■審査員出展作品

題名	サイズ	種別	氏名
とどまれ、貴女はいかにも美しい	160×90	単	東 邦定
波羅蜜多の彼方へ =窓の向こうはガンジス=	100×130	単	浦本 寛史
passed by	80×180	単	島元 智
鼓動(比謝川・嘉手納町)	55×83	単	根間 芳和
鼓動(宇地泊川・宜野湾市)	83×55	単	根間 芳和
星河一天	51.5×66.5	単	長堂 哲
川の流れに	43×200	組	西原 けんじ
最高の夏	42×59.4	単	古謝 克公
仕事場	42×59.4	単	古謝 克公
Mercator Panorama 2025	100×160	単	仲本 賢
2010年沖縄県島尻郡伊是名村	50.8×40.6	単	伊波 リンダ
2010年沖縄県島尻郡伊是名村	50.8×40.6	単	伊波 リンダ
2010年沖縄県島尻郡伊是名村	50.8×40.6	単	伊波 リンダ
IMG_240909	129.2×91.4	単	又吉 亮太
IMG_230821	129.2×91.4	単	又吉 亮太

■無鑑査出展作品

題名	サイズ	種別	氏名
夏雲湧く	80×110	単	吉直 新一郎
80年	72×62	単	國吉 倅明
Log	21×29.7	写真集	高野 大
静謐なる斎場御嶽	111×81	組	玉城 健次郎
悲風に吹かれて	55×75	単	玉城 健次郎
読書する女	75×55	単	玉城 健次郎

■写真入賞作品

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
沖縄県知事賞 壺屋のじんじん	63×63	単	中村 高士	那覇市
沖縄県文化芸術振興会理事長賞 なれない自分	140×90	単	安田 拓	北中城村
奨励賞 石敢當のある情景	25.5×33	写真集	宮城 米子	中城村
奨励賞 浮遊	61.8×76.8	単	安田 正昭	那覇市
奨励賞 はじめてのお茶	50.5×60.5	単	砂川 盛榮	浦添市
新人賞 古代ロマンへの旅	60.5×85.7	単	長嶺 均	糸満市

■写真入選作品

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
必死の抵抗	71×54	単	町田 宗昭	沖縄市
晩夏	73×53	単	名嘉 久美子	豊見城市
ヒージャー	60.2×72.5	単	諸見里 安吉	うるま市
親子の決意	51×62	単	赤嶺 喜孝	那覇市
がまん! がまん!	61.5×72.5	単	松田 昌一	沖縄市
仲裁	76×62	単	与儀 文夫	中城村
射貫く	71×96	単	玉城 正一	豊見城市
月光を浴びて	52×63	単	屋富祖 良敬	那覇市
希望の光	72×61.5	単	伊藤 俊雄	宜野湾市
なは展望・2025	62×73	単	与儀 栄太郎	那覇市
夏休み	54.6×67.5	単	島田 美佐子	うるま市
大波ザブーン	54.6×67.5	単	島田 美佐子	うるま市
気配	59×84	単	川満 昭男	西原町
非現実	44×60	単	川満 昭男	西原町
那覇着18:16	51.5×62.5	単	上原 恵子	那覇市
ファンタジー	48×64	単	楚南 富美子	那覇市
風とたわむる	48×64	単	楚南 富美子	那覇市
ついておいで	57.5×76	単	仲本 昌雄	うるま市
木登り大好き	53×64	単	眞志保 義夫	沖縄市
ラブラブ四人組	53×64	単	本間 京子	糸満市

■写真入選作品

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
マイクロワールド	62.3×51.3	単	山田 恵美子	うるま市
さち子ちゃん!	62.6×47.3	単	山田 恵美子	うるま市
タンカーユーエー	76×62	組	新垣 フミ子	南風原町
庶民の暮らし	76×62	組	新垣 フミ子	南風原町
戦後、80年	72.2×52.2	単	長嶺 貴子	那覇市
悪夢	64×117	組	島本 孝一	沖縄市
お客様ですよー	58.5×43	単	浅沼 祐子	沖縄市
The 初心者	55.5×76.5	単	東門 晶子	沖縄市
デート中〜す	67.7×54.7	単	丸山 栄	南風原町
翔べ夏空へ!!	71×61	単	長濱 大	豊見城市
躍動	50×61	単	宮城 哲子	那覇市
対比	43×59	単	松岡 洋市	西原町
もうひとつの慰霊祭	84.5×108	組	安田 正昭	那覇市
匠	110×80	組	我喜屋 功	那覇市
走れ、ゴールへ	72.5×61.5	単	松田 理	北谷町
閑古鳥の夜店	73×61	単	喜友名 寛	沖縄市
祭りの日	63×84	単	宮良 正子	うるま市
怪獣上陸	30.9×46.3	単	高嶺 正美	豊見城市
トリック	51.5×62	単	安里 涼子	那覇市
店が反射鏡	62×51.5	単	安里 涼子	那覇市
琉球夜祭 むら咲むら	21.5×28.5	写真集	西銘 美佐子	沖縄市
赤い帽子の行方	79×94	組	新城 直美	宜野湾市
待ちわびる	63×52	単	新城 直美	宜野湾市
NEW & CLASSIC	77×92	組	島袋 康	中城村
サークルウォーク	62×73	単	具志 明	八重瀬町
ウーマク	55×44	単	仲道 幸子	うるま市
光彩	48×64	単	新垣 良子	那覇市
港町の記憶	114×67	組	安次嶺まり子	那覇市
光景	64.5×89	単	又吉 英男	浦添市
視線	64.5×89	単	又吉 英男	浦添市
追悼	83.5×105	組	瑞慶山 良弘	那覇市
島の祭り	61.5×72.5	単	正木 虎夫	宜野湾市
龍舞	62×76	単	屋嘉部 景文	名護市
無垢なひととき	54.5×76	単	與那嶺 幸子	宜野湾市
ウーマク	54.5×65	単	渡名喜 悦子	糸満市
愛嬌者	83.7×58.7	単	渡名喜 悦子	糸満市
山あい生きる	48×63.5	単	与那城 純子	那覇市
林檎	61.5×72.5	単	仲程 梨枝子	那覇市
見上げてごらん	61.5×72.5	単	仲程 梨枝子	那覇市
野生	49×64	単	喜屋武 敬子	豊見城市

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
春の気配	58×84	単	照屋 明	浦添市
無関心	51.5×62	単	島袋 メリ子	宜野湾市
うりずんファンファーレ	54×65	単	長嶺 享	那覇市
鳳凰	60×75	単	大城 敏雄	与那原町
宿る	63×123	組	新垣 隆吾	与那原町
いつか見た風景	85.4×62.6	組	新垣 隆吾	与那原町
雪国	112.5×71.5	組	内間 秀太郎	沖縄市
希望	46.3×30.9	単	平田 小枝子	沖縄市
朽ちた顔縁	53×64	単	我那覇 安勇	那覇市
人馬の意気	58.5×80	単	砂川 悦子	豊見城市
貌	77×59	単	砂川 悦子	豊見城市
街角寸景	51×62	単	永味 節子	那覇市
風と笑顔と白いシャツ	51×62	単	永味 節子	那覇市
旅の風情	84×62.5	単	玉城 光子	北谷町
炎	63×63	単	永山 直樹	沖縄市
サンセット・エッジ	64×64	単	新里 ゆきえ	那覇市
色彩の波間を行く、僕は	61.5×72.5	単	新里 ゆきえ	那覇市
パンツが見えてる	73×61	単	山城 啓	名護市
帰り道	63×80	単	山城 和代	名護市
消せない足跡	62.5×73.5	単	銘苅 一哲	浦添市
思わぬ逆襲	72×89	単	菅原 壯	沖縄市
こっち向いて	57.5×67.5	単	新垣 允啓	豊見城市
母の胸に	64×53	単	新垣 允啓	豊見城市
MUMBAI	62.5×51.5	単	天野 千鶴	宜野湾市
カタールの夜	51.5×62.5	単	天野 千鶴	宜野湾市
君と僕の花道	51.5×62.5	単	金城 真紀子	与那原町
せせらぎの優しい眼差し	32.2×42.7	単	知念 一架	浦添市
宇宙への誘い	85×149	単	喜名 朝駿	那覇市
春の息吹	91×130	組	喜名 朝駿	那覇市
渦巻く剣士	55×75	単	崎濱 慶子	那覇市
むらさき村 点描	-	単	大城 慶子	豊見城市
息づく伝統の技	50×106	組	国吉 弘美	浦添市
祭への一步	103×83	組	津嘉山 幸子	宜野湾市
秘密基地	61.5×76.5	単	親富祖 勝枝	浦添市
思索の残響	76.5×61.5	単	親富祖 勝枝	浦添市
恥ずかしいナ	64.5×54	単	平良 洋子	西原町
京の雨宿り	63×52	単	儀間 生子	那覇市
境界線の向こう側	52×63	単	儀間 生子	那覇市
瞑想 60秒	85×60	単	天久ゆういち	宜野湾市
瞬き 1/500秒	60×85	単	天久ゆういち	宜野湾市

美術公募展

年度	回	県知事賞	教育長賞	優秀賞	沖縄県文化芸術振興会理事長賞	奨励賞	新人賞	
S52	6	永山 信春	我如古 彰一			上原 隆昭 米須 敏三郎		
S53	7	米須 敏三郎	尚 武			川平 恵造 比嘉 良二	屋良 朝春	
S54	8	永山 信春	米須 敏三郎			川平 恵造 比嘉 良二	与那覇 朝大	
S55	9	与那覇 朝大	喜友名 朝紀			朝内 信二郎 新垣 安雄	瑞慶山 昇 能山 宗忠	
S56	10	川平 恵造	青山 映二			新城 剛 砂川 喜代	比嘉 良二	
S57	11	宮城 和邦	浦崎 彦志			上江洲 由朗 川平 恵造	当山 進	
S58	12	川平 恵造	和宇慶 朝健			伊元 隆一 上江洲 由朗	宮城 孝也	
S59	13	和宇慶 朝健	屋良 朝彦			伊元 隆一 砂川 喜代	和宇慶 朝健	
S60	14	上江洲 由朗		比嘉 良二		鎮西 公子 仲宗根 清	山内 盛博 屋良 朝彦	
S61	15	上江洲 由朗		金城 満		伊良部 恵勝 金城 準子	宮城 孝也	
S62	16	島袋 喜代子		金城 恵勝		金城 準子 知名 久夫	山田 武	
S63	17	金城 満		宮里 顕		叶 英樹 知名 久夫	屋良 朝彦	
H1	18	新垣 正一		屋良 朝彦		叶 英樹 三木 元子	山内 盛博	
H2	19	宮里 昌健		長嶺 斉		奥原 崇典 瑞慶山 昇	仲村 春孝	
H3	20	仲里 安広		新崎 竜也		奥本 静江 佐久間 盛義	瑞慶山 昇	
H4	21	奥本 静江		知念 秀幸		知名 久夫 仲本 清隆	宮城 和邦 宮里 昌健	
H5	22	知念 秀幸		池宮城 智子		玉城 正明 知念 盛一	比嘉 良徳	
H6	23	又吉 邦華		比嘉 良徳		稲嶺 盛一郎 上原 仁輔	三木 元子	
H7	24	赤嶺 雅		大城 朝康		叶 ひでき 志喜屋 徹	花城 勉	
H8	25	花城 勉		宮城 あすか		赤嶺 雅 奥原 崇典	我謝 弘行	
H9	26	大城 久美子		津波 古 稔		新城 盛秀 磯村 茂	玉城 正明	
H10	27	松本 妙子		三木 元子		奥本 静江 西平 賀雄	根間 智子	
H11	28	永原 達郎		根間 智子		親川 松清 佐久本 米子	堀川 恭昭	
H12	29	津波 古 稔		豊永 盛人		安里 充広 小橋川 清一	宮城 和邦	
H13	30	与那覇 芳恵		安富 幸子		大城 久美子 叶 ひでき	佐久本 米子	
H14	31	山川 さやか		梶井 昌智		栗山 絵美子 佐久本 米子	宮里 ユキ子	
H15	32	富元 明雄		与那覇 芳恵		佐久本 米子 安富 幸子	山川 さやか	
H16	33	波平 栄宏		池原 優子		栗山 絵美子 富元 明雄	宮里 ユキ子 富名腰 ヨシ子	
H17	34	池原 優子		富名腰 ヨシ子		上原 はま子 河原 圭祐	安富 幸子 野津 唯市	
H18	35	島袋 洋		釘本 成行		仲本 潤光 平川 宗信	上原 英樹 濱元 朝和	
H19	36	佐久本 米子		橋本 弘徳		玉城 正明 城間 義夫	野津 唯市 宣保 和可乃	
H20	37	奥原 崇典		宮城 翔子		野津 唯市 太田 成美	上原 英樹 栗山 ルリ子	
H21	38	普天間 実佳		栗山 ルリ子		宮里 友三 上原 義正	玉那覇 英人 宮城 才子	
H22	39	仲里 安広		玉那覇 英人		鶴見 伸 宮里 友三	濱口 真央 並里 幸太	
H23	40	鶴見 伸		宮里 昌信		高原 武子 与那覇 勉	玉那覇 英人 中澤 将	
H24	41	玉那覇 英人		宮里 昌信		鶴見 伸 伊波 則雄	与那覇 勉 金城 知美	
H25	42	伊波 則雄		宮里 昌信		宮里 友三 具志堅 古秀	中澤 将 朝妻 彰	
H26	43	鶴見 伸		与那覇 勉		北山 千雅子 具志堅 古秀	伊波 則雄 伊志嶺 達雄	
H27	44	山城 道		与那覇 勉		仲程 悦子 金城 恵美子	北山 千雅子 饒平名 知健	
H28	45	北山 千雅子		高原 武子		伊波 則雄 仲程 悦子	松本 幸昌 華山 聖作	
H29	46	小泉 ゆりか			伊波 則雄 与那覇 勉	仲宗根 市子 並里 幸太	齋 悠記	
H30	47	伊志嶺 達雄			平川 宗信 与那覇 勉	仲程 悦子 松門 重雄	カガミ ジョージ	
R1	48	齋 悠記			福田 直樹 与那覇 勉	平川 宗信 松本 幸昌	浦田 健二	
R2	49	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止						
R3	50	平川 宗信			鈴木 まこと 城間 文雄	砂川 恵光 伊志嶺 達雄	棚原 麻里奈	
R4	51	与那覇 勉			伊元 隆一 平 敷 傑	伊志嶺 達雄 浦田 健二	比屋根 清隆	
R5	52	比屋根 清隆			前川 麗香 伊元 隆一	城間 文雄 酒井 貴彬	くぎもと 潮路	
R6	53	伊志嶺 達雄			伊元 隆一 大城 春信	比屋根 清隆 和宇慶 茜	与那覇 俊	
R7	54	伊元 隆一			中澤 将 國吉 清	比屋根 清隆 砂川 恵光	相馬 葉音	

書道公募展

年度	回	県知事賞	優秀賞	沖縄県文化芸術振興会理事長賞	奨励賞	新人賞
H8	25	島野 裕司	眞喜屋 美佐		上地 徹 香村 ナホ	比嘉 良勝
H9	26	島 尚美	中村 裕美		泉 朝信 砂川 榮	比嘉 良勝
H10	27	中村 裕美	上地 徹		新垣 洋子 砂川 榮	浜口 清子
H11	28	神山 律子	砂川 榮		荻堂 ひろ子 眞喜屋 美佐	与那覇 典子
H12	29	神山 律子	玉城 君子		砂川 榮 高江洲 朝則	眞喜屋 美佐
H13	30	西蔵盛 英雄	連天 美代子		島 尚美 長浜 和子	比嘉 千鶴子
H14	31	比嘉 千鶴子	西蔵盛 英雄		金城 多美子 島 尚美	眞喜屋 美佐
H15	32	比嘉 さつき	我喜屋 文子		金城 多美子 高江洲 朝則	宮里 朝尊
H16	33	上門 かおり	金城 多美子		高江洲 朝則 長山 リエ子	比嘉 千鶴子 上原 孝之
H17	34	高江洲 朝則	志村 京子		安里 友子 金城 多美子	宮里 朝尊 稲嶺 法子
H18	35	上原 貴子	斉藤 純子		与那覇 律子 宮里 朝尊	田頭 節子 山里 昌輝
H19	36	田頭 節子	斉藤 純子		与那覇 律子 幸喜 石子	山里 昌輝 該当者なし
H20	37	新里 明美	幸喜 石子		石川 美智代 上門 かおり	山里 昌輝 普天間 完文
H21	38	仲村 由美子	幸喜 石子		仲里 徹 渡久地 美佐子	具志堅 ナエ子 金城 真理子

書道公募展

年度	回	県知事賞	優秀賞	沖縄県文化芸術振興会理事長賞	奨励賞	新人賞	
H22	39	上門 かおり	山里 昌輝		渡久地 美佐子 謝名堂 奈緒子	石川 美智代 喜友名 正子	
H23	40	金城 真紀子	新里 明美		仲村 由美子 渡久地 美佐子	松 淳子 松川 美智子	
H24	41	渡慶次 喜代美	石川 美智代		與那城 千恵子 仲里 徹	大仲 春奈 城間 律子	
H25	42	仲村 由美子	上運天 春菜		謝名堂 奈緒子 渡慶次 喜代美	田頭 節子 安座真 賀子	
H26	43	與那覇 律子	仲里 徹		喜納 京子 上原 千枝美	天久 美津枝 大田 安子	
H27	44	幸喜 洋人	謝名堂 奈緒子		石津 陽子 仲里 徹	田頭 節子 神里 和子	
H28	45	眞謝 幸代	上原 千枝美		上原 貴子 渡慶次 喜代美	田頭 節子 福原 美枝	
H29	46	長堂 加代子		島津 和美	神里 和子 新垣 恵津子	當間 秀美 濱川 綾子	
H30	47	伊波 エツ子		仲宗根 司	田頭 節子 喜友名 正子	金城 綾子 該当者なし	
R1	48	田福 宏美		島津 和美	宮本 康甲	湧田 市子 當間 秀美 該当者なし	
R2	49	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止					
R3	50	知念 一正		仲村 冴子	天久 美津枝	安里 涼子 平良 祥太 岸本 泰子	
R4	51	伊禮 かおる		大田 安子	金城 久弥	東徳嶺 輔 仲里 美代子 該当者なし	
R5	52	伊波 エツ子		仲宗根 司	長堂 加代子	神里 和子 金城 久弥 與那覇 博美	
R6	53	仲宗根 司		謝名堂 奈緒子	仲村 冴子	屋宜 由季奈 金城 めぐみ 豊平 美奈子	
R7	54	喜友名 正子		山城 篤和	神里 和子	東徳嶺 輔 仲村 冴子 桑江 遼	

写真公募展

年度	回	県知事賞	教育長賞	優秀賞	沖縄県文化芸術振興会理事長賞	県議会議長賞	市長会長賞	奨励賞	新人賞
S54	8	末吉 はじめ	嘉納 辰彦			田中 澄一	仲宗根 直	大嶺 信雄 上原 健次	小谷 隆男
S55	9	大嶺 信雄	名嘉真 朝健			上原 健次	比嘉 清眞	川平 幸雄 照屋 忠	宮平 秀昭
S56	10	嘉納 辰彦	大城 真一郎			原田 欣哉	上地 完徳	大城 信吉 隅田 伸之	久田 友福
S57	11	該当者なし	田場 盛雄			村澤 仲裕	久田友福・大城信吉	川平 幸雄 我那覇 生守	新里 和子
S58	12	比嘉 朝之	上地 完徳					大城 信吉 久田 友福	村瀬 武文
S59	13	大城 信吉	中村 正文					知念 清市 久田 友福	宮城 信秀
S60	14	屋良 朝崇		吉直 新一郎				崎山 佳裕 比嘉 朝之	前原 常男
S61	15	嘉数 繁光		大城 幸信				上原 健次 坂井 和夫	仲米 政雄
S62	16	阿波連 勲		金城 幸彦				浦本 寛史 高塚 勝巳	新田 健夫
S63	17	安田 敬子		末吉 はじめ				伊佐 美砂 金城 幸彦	知念 佑子
H1	18	牧 直實		伊芸 元一				上原 健次 知花 照子	比嘉 朝之
H2	19	嘉数 和子		比嘉 睦子				金城 幸彦 儀間 真人	名嘉真 朝健
H3	20	金城 幸彦		平井 毅				大川 修 翁長 正則	宮本 伝
H4	21	金城 幸彦		知花 照子				比嘉 文雄 宮本 伝	山川 有元
H5	22	松門 重雄		島袋 正然				伊芸 元一 上地 キミ子	新田 健夫
H6	23	登野城 安則		祖慶 良勇				上地 キミ子 仲宗根 直	平良 克之
H7	24	富平 実		伊芸 元一				上地 キミ子 崎山 洋子	比嘉 睦子
H8	25	上地 キミ子		諸見里 光子				金城 一史 山城 正雄	与那城 武旭
H9	26	染矢 尚武		松門 重雄				喜名 朝駿 友利 孝子	豊島 貞夫
H10	27	知名 信子		染矢 尚武				瀬良垣 馨 平良 克之	眞栄田 久嗣
H11	28	平良 幸江		親泊 秀尚				阿南 鐵司 上地 キミ子	与那城 壮旭
H12	29	中山 興也		波平 常則				石川 敬介 喜名 朝駿	當眞 嗣範
H13	30	瑞慶覧 進		山城 和代				喜名 朝駿 祖慶 良勇	与那城 壮旭
H14	31	喜名 朝駿		山城 盛達				佐久田 尚昌 長堂 嘉秀	宮城 義亨
H15	32	国吉 倅明		祖慶 良勇				翁長 盛武 添石 幸安	富平 実
H16	33	仲村 千佳子		福村 安弘				小渡 静男 島袋 弘	山田 浩 松本 達子
H17	34	翁長 盛武		山城 和代				上原 健次 木村 正男	島元 智 しんざとえいじ
H18	35	仲村 千佳子		比嘉 清眞				仲村 繁 小嶺 朝子	松本 達子 森山 ひろみ
H19	36	辺土名 朝功		吉直 新一郎				比嘉 清眞 松山 朝雄	岩城 禮子 島尻 郁美
H20	37	吉直 新一郎		比嘉 清眞				宇栄原 格 波平 栄宏	豊平 信則 泉谷 豊
H21	38	添石 艶子		大嶺 勝美				南 研作 西原 けんじ	宮良 文 比嘉 正栄
H22	39	島元 智		国吉 倅明				新城 直美 高野 生優	比嘉 清眞 城間 由美子
H23	40	島元 智		島袋 陽子				比嘉 清眞 渡久地 政修	宮良 文 長堂 哲
H24	41	山内 弘子		田中 優子				祖慶 良勇 島袋 メリ子	福盛 庸夫 又吉 国夫
H25	42	砂川 悦子		新垣 フミ子				泉 朝順 木戸 栄里	大嶺 自栄 兼島 正
H26	43	山内 昌昭		宮城 米子				羽地 良磨 山内 弘子	城間 由美子 原国 政裕
H27	44	稲嶺 もりみつ		山内 昌昭				宮義 洋史 知念 信雄	大川 盛安 幸喜 あかり
H28	45	又吉 英男		眞栄城 浩				宮城 米子 城間 由美子	金城 直也 永味 節子
H29	46	宮義 洋史			新城 直美			花城 雅孝 與儀 美奈子	我喜屋 功 親富祖 勝枝
H30	47	玉城 健次郎			大城 敏雄			砂川 悦子 喜屋武 敬子	名嘉 元希 天久 昌子
R1	48	添石 艶子			John H. Tien			安田 正昭 新垣 フミ子	城間 由美子 中村 秀雄
R2	49	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止							
R3	50	屋富祖 良敬			玉城 健次郎			名嘉 久美子 正木 スエ子	長 濱 大 島田 美佐子
R4	51	高野 大			具志堅 一彦			与儀 文夫 宮良 正子	照屋 明 新里 ゆきえ
R5	52	山内 利江子			高野 大			名嘉 久美子 崎原 光明	喜名 朝駿 陳 敏
R6	53	与儀 栄太郎			新垣 允啓			宮城 米子 安田 拓	儀間 生子
R7	54	中村 高士			安田 拓			宮城 米子 安田 正昭	砂川 盛榮 長嶺 均